

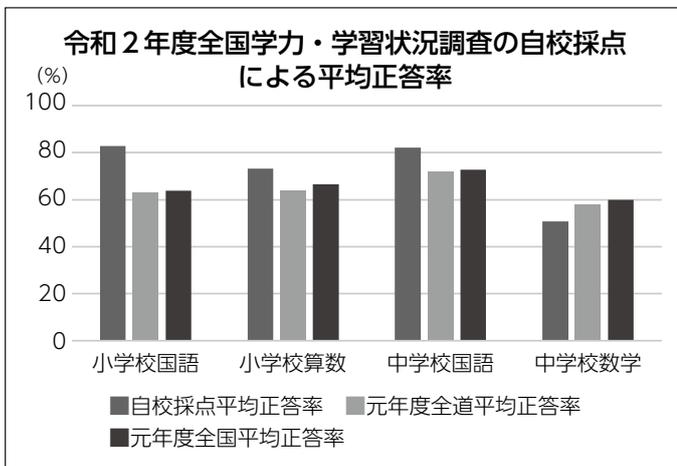
今年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各学校で実施して自校採点を行っています。このことにより、全道・全国の平均正答率との比較はできません。質問紙調査は、これまでと同様に学習意欲、学習方法、学習環境、生活状況等に関する調査となっていることから、自校の子どもたちの実態を把握することを目的として実施しています。

本町では8月5日に実施しました（小学校6学年児童39名、中学校3学年生徒45名）。

1 数値に見る標津町の児童生徒の学力

各校の自校採点の結果からは、標津型学習スタイルを基本にした授業改善に取り組んできた成果を見ることが出来ます。

数値から見る本町小学6学年、中学3学年の学力は、中学数学以外は昨年度の全国平均正答率の数値を上回っています(これまでの全国平均正答率との比較から)。領域別や問題別に見ると、両小中で共通して正答率の低い領域や問題が見られることから、卒業までに復習や補充学習に取り組む必要があります。



○小学校～町内2校

- 国語科においては平均正答率が8割を超えています。
- 算数科においては元年度の全国平均正答率を超えています。

○中学校～町内2校

- 国語科においては平均正答率が8割を超えています。
- 数学科においては例年に見る傾向にありますが町全体として改善傾向にあります。

○学力調査に見る課題

- 論理的な説明、記述式の問題に対する正答率が極端に低い傾向が続いています。
- 平均正答率は高い傾向にありますが、各教科の正答率が6割以下の児童生徒の既習内容の定着が必要です。

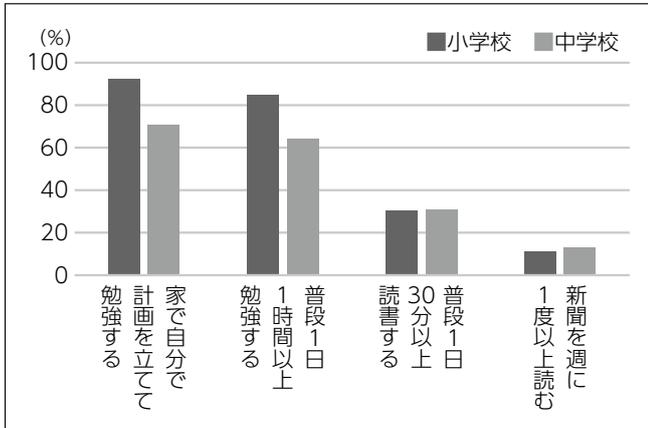
○課題解決を目指す授業改善

- どの子にも声掛けし、子どもの声に耳を傾け、安心して学ぶことができる環境を作り上げます。
 - 子どもを褒めること、認めることを通して学ぶ意欲を引き出し高めます。
 - 授業のねらいを明確に、授業の終末には定着問題に取り組み、振り返りを行います。
 - 自分の考えをノートに書いて整理する習慣を身に付けます。
 - 授業の内容と家庭学習を結び付け、予習や復習の時間を確保し家庭学習の習慣化に努めます。
- こうした取組を継続し、生徒指導の3機能を生かした授業改善に取り組めます。

2 質問紙から見えてくる児童生徒の姿

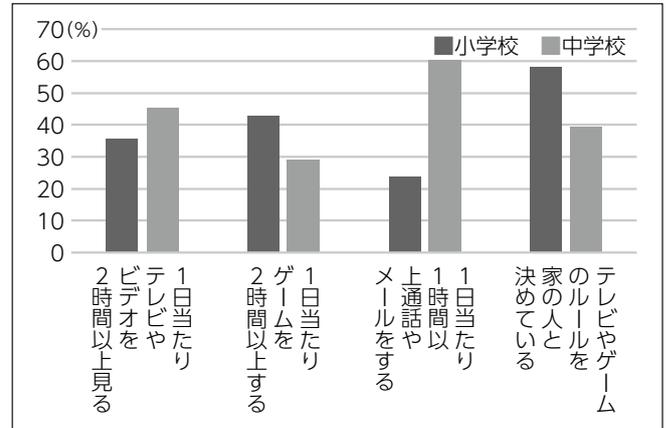
基本的な生活習慣においては、「早起き」「朝食を摂る」数値は高いものの、中学校ではメディアに要する時間が長時間にわたることから就寝時刻や家庭での学習に大きく影響していることが考えられます。

家庭における学習習慣



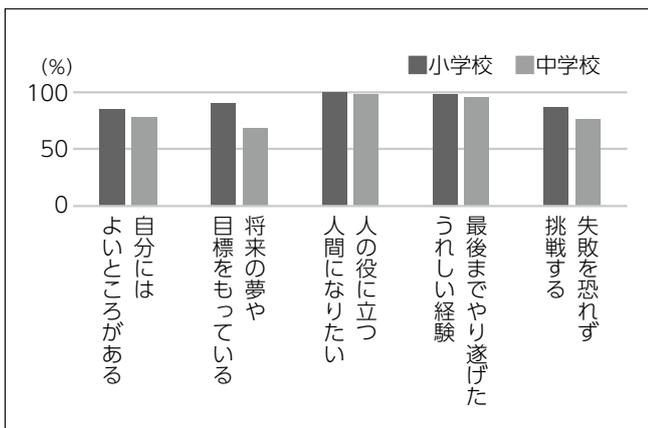
- 自分で計画を立て、家庭学習に取り組む習慣を身に付ける必要があります。
- 読書の時間、新聞を読む時間が極端に低い傾向が続いていることから意図的、計画的に取り組む必要があります。
- 家庭学習の時間が中学校で低くなるのは、メディアの時間との相関関係にあることが考えられることから、授業と家庭学習を関連付けるなどの工夫が必要です。

メディアタイムに関する時間等



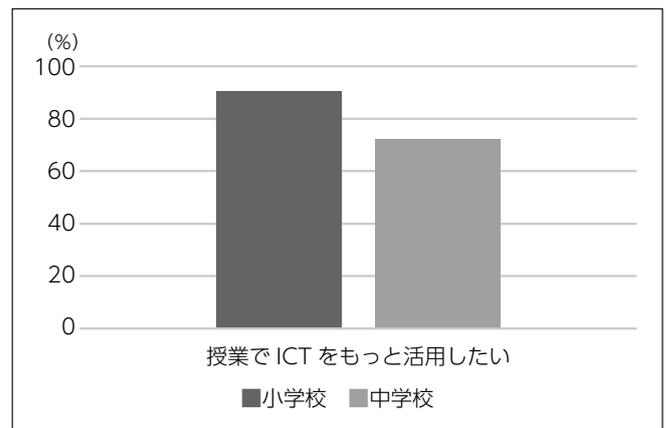
- メディアに1日3時間以上を費やす生徒の存在は、学校における学習面や生活面において影響していることが想定できることから、スイッチOFF22の取組を継続していく必要があります。
- 長時間のメディアタイムの弊害について児童生徒への指導はもちろん、保護者への指導と協力を依頼し、根気強く家庭と連携し生活習慣を改善していく必要があります。

自尊意識に関する



- 自尊意識は、中学生で低くなる傾向にあることから、キャリア教育等について小学校から中学校への接続の工夫も必要です。
- 日常的に子どもに寄り添い、子どもの声に耳を傾け、よさを認めることが必要です。

ICTを活用した授業



- 質問紙調査より児童生徒は「授業でICTをもっと活用したい」という思いが高いことが数値にも表れています。
- ICTが「分かる授業」に有効活用されるよう、使う側が授業改善に取り組むことが必要です。

子どもたちの笑顔をつなぐ園小中高一貫教育

子どもたちの学び、心身の成長は、各校種で完結するものではないことから、子どもが新しい環境での生活や学習に円滑に移行・接続できることが大切です。このことから、幼児教育から高校教育までの学校段階の学びの連続性を重視し、身につけておくべき資質・能力が各校種の新学習指導要領に三つの柱で明確に示されています。次年度から全面実施される中学校新学習指導要領にそって充実した教育活動を推進する中学校2校の実践を紹介します。

標津中学校

ひとりだちできる人間の育成

本校の教育目標は、『ひとりだちできる人間の育成』です。そのためには、目標を持って学習に取り組み、地域を愛し未来の地域・社会に貢献する生徒、自己や他者の幸せを追求できる心豊かな生徒、学力を支えて人生を支える体力を持った生徒を育てることと考えています。そして、「ひとりだち」＝「未来を創り地域を支える人材」と捉え、未来の標津町を支える人材を、全職員で生徒全員を支え、生徒全員を伸ばすために一つ一つの教育活動を進めています。



「フォトラリーでクリーン標津」の清掃活動



「鮭」を通して標津の歴史を学ぶ

郷土愛がふるさとを支える

今年度より「ふるさと教育」の充実を図っています。標津の良さを再発見しようと取り組んだ「フォトラリーでクリーン標津」。標津の町の中を指定された写真を撮りながら、ゴミ拾いも行うというものでした。生徒達には、たくさんの再発見があり、町をキレイにできた満足感を味わった学習となりました。また、普段話す機会の少なかった友達とも一緒に活動することができ、交流を深めることができた多くの生徒が感想用紙に綴っていました。

ポー川史跡自然公園では、「鮭学習」として2年生が標津とアイヌ文化とのつながりを学びました。日本遺産として登録された「鮭の聖地」の物語のこれからを担っていく生徒達を育む活動を、これからも進めていきます。



川北中学校

「北に生き 未来を拓く生徒の育成」

21世紀の社会を展望するとき、先行きの不透明感や変化の激しい社会にあって、新しい時代を切り開いていく創造性あふれる子どもの育成と将来を「生き抜く力」を身に付けさせる教育実践を目指しています。そのためには、基礎学力の定着を図ると共に、自分の頭で考え、仲間と協力してより良い考え方をを見つけ出し、「わかる喜び」「できる楽しさ」を体感させ、学ぶ意欲を向上させることに重点を置いた学習指導を進めています。また、「豊かな心」を育成することも大切です。学年・学校での仲間作りを通して、存在感・所属感・連帯感を育て、学校行事や部活動、体験的な活動を通して達成感・満足感・成就感をもてるような教育活動の創意工夫を心がけています。

今年度は、コロナの影響で例年通りの活動を行えない状態でスタートしました。そのような状況の中で生徒会が考え出した今年のテーマは「ONE TEAM ～ゴールはここじゃない」でした。このような社会状況の中でも仲間と力を合わせ、前に進んで行こうとする生徒たちの思いが伝わってきました。そして、これはまさに本校の教育目標に通じる生徒たちが導き出した道標となりました。

このテーマのもと、体育祭・学校祭では、限られた活動に真剣に向き合い、仲間と協力しながら、より素晴らしいものを創り出していこうとする姿が見られました。

「水・キラリ」が中止となり、毎年披露していた「よさこい」を行う機会を失いましたが、「学校祭でやりたい!」という生徒たちの要望に応え、取り組みました。3年生が中心となり、縦割りでグループを作

り、練習する姿は「豊かな心」を育む機会となりました。雲ひとつない秋晴れの中、グラウンドで躍動する姿はまさに「ONE TEAM」となった瞬間でした。



今後も生徒・先生・家庭・地域が「生き抜く力」の理念を共有し「ONE TEAM」となり教育実践を推進していきます。

標津町中高連絡協議会

標津町では中高接続上の課題解消に努めるため「標津町中高連絡協議会」を組織しています。その活動をここに紹介します。

「標津高校がいいな！」

今年度は、コロナ禍の影響で中・高で交流する機会が設定できていない現状にあります。しかし、1学年が学級減になった標津高校の今後の展望を踏まえ、標津高校への進学強化が大きな課題となっています。

良い成績を修め、偏差値の高い高校への進学を希望している生徒、部活動を基準に高校の進路を考えている生徒に、単純に地元だからという理由で標津高校への進学を勧めることはできません。

そこで大切になってくるのは、**標津高校の魅力伝えるサポート**をすることだと考えています。生徒が進学先を決める際に、「受験勉強が面倒くさい。」「勉強が得意じゃない。」「地方に行くのは大変だから。」「どこでもいいや。」「標津高校でいいや。」と考えるのではなく、「標津高校がいいな！標津高校でこんなことをしてみたい！」という意識をもてるようにすることを中高連絡協議会の最重要課題と位置付けています。

【標津町中高連絡協議会・基本方針】

- (1) 青年期を迎える中学生・高校生の望ましい成長、発達を図る観点から、授業実践を通して標津町内の中学校と高校の連携・交流をさらに深める。
- (2) 標津町内の中学校と標津高等学校の多面的な連携・交流をさらに深める中で、町内生徒の目を標津高等学校に向け、進学強化を図る。

【そのために】

- 町内両中学校を訪問しての入学説明会の時期を早めました。今年は7月でしたが、今後は6月実施を予定しています。また、教員による説明だけではなく、卒業生を招き、寮生活、部活動、生徒会、学習のサポート体制など、充実した学校生活について紹介しました。
- 標津高校の体験入学には、町内の全中学生が参加しています。
- 標津町からの充実したサポート体制を紹介しています。
- 今年度は行っておりませんが、中高連携のもとに「Step up講座（出前授業）」「部活動交流」「教科交流」などを実施していきます。

【標津高校の特色ある教育活動】



標津高校体験入学



標津高校では、自然環境類型教育学習活動・ユネスコスクール・海洋教育パイオニアスクールなどを行っています。

また、東京大学で行われた防災教育チャレンジプラン報告会にも参加するなど、防災教育にも力を入れています。

今後は、このような素晴らしい実践を町内の小中学生に標津高校との交流活動を通して伝えていく機会を設けていきます。

標津町

文化祭

～学び創る 人・まち・文化～

町生涯学習センターあすばるで、10月27日～11月3日までの間、標津町文化祭（同実行委員会主催）が開催されました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年行っているステージ発表やバザーは中止となりましたが、あすばるロビーには、文化サークルや個人が出品した312作品が展示されたほか、町内こども園のお



映像発表を観賞する来場者

遊戯や小中高校の吹奏楽部による演奏、町内サークルによる楽器演奏などが発表している様子を映像で上映しました。期間中は約750名の方々が訪れ、新型コロナウイルス感染対策にご協力いただきながら、作品や映像を鑑賞されていました。たくさんの皆さまに展示や発表でご参加いただいたことにより、例年とは違う文化の秋を満喫される様子が見られました。ご参加・ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



展示作品を鑑賞する来場者

三地区 文化祭

川北・古多糠・北標津

11月7日から11月16日まで三地区「川北・古多糠・北標津」文化祭（同実行委員会主催）が開催されました。

展示部門では絵画や手作り作品など、個人団体合わせ499点が展示されました。また、親子映画上映会ではアニメーション映画「ペット2」を上映し、親子で鑑賞を楽しまれていました。



展示作品を鑑賞する来場者

協賛事業では11月7日に新そばまつり、11月14日には川北中学校吹奏楽部定期演奏会を開催し、両団体は秋を感じさせる催しで、会場を賑わせていました。

ご来場いただきありがとうございました。



▶新そばまつりの様子

令和3年



町教育委員会では、令和3年標津町成人式を下記のとおり開催します。

対象者は、平成12年4月2日から平成13年4月1日生まれで、本町に在籍する方及び本人が本町の成人式に参加を希望する方です。



- ◆日 時：令和3年1月7日(木) 午後1時から
- ◆場 所：標津町生涯学習センター あすぱる

※本町に在籍する方及び事前に連絡をいただいた対象者には12月上旬に案内状を送付します。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる可能性もございます。その他、当日の感染対策等、町ホームページよりご確認ください。

「標津町 あすぱる」で検索いただくか、QRコードから読み取りください。



新春書き初め大会

新年の恒例行事「新春書き初め大会」を次のとおり開催します。参加申込み方法など、詳しくは12月中旬頃に各園学校を通じて配布されるチラシをご覧ください。

- ◆日 時：令和3年1月9日(土) 13:30～16:00
- ◆場 所：町生涯学習センター あすぱる 多目的ホール
※川北地区の参加者については、事務局で送迎車を用意いたします。
- ◆対 象：幼児～中学3年生



◆新型コロナウイルス感染対策

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては中止とさせていただく可能性がございますので、ご了承ください。

★問合せ：町生涯学習センターあすぱる (☎82-2900)

入場無料

標津 冬

サイエンスフェア開催



町教育委員会では北海道教育大学釧路校と連携し、次の日程でサイエンスフェアを開催します。

このフェアは7月と1月の年2回行っておりますが、夏の開催は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。今回は冬の開催に向けて大学生の皆さんがいるような科学の実験や体験を準備してくれています。



この機会に科学の世界に触れて、
大学生の皆さんと楽しく交流してみたいか。

■日 程：令和3年1月23日(土) 10時～12時

■場 所：町生涯学習センター あすぱる

■対 象：町内の園児・小中学生

※園児は保護者同伴に限ります

■申込み：12月頃に各園、学校を通じて配布されるチラシをご覧ください

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる可能性がございますので、ご了承ください。

★問合せ先：町生涯学習センターあすぱる (☎82-2900)

第3期生大募集!!

しべつ未来塾生

「しべつ未来塾」では、一緒に活動していただけるメンバーを随時募集しています。

第3期生の任期は令和5年3月31日までとなります。

自分たち発のアイデアで、地域を盛り上げていきませんか。

気軽に
参加してネ



1. しべつ未来塾の活動目的

「標津のまちづくりと青年同士のネットワークの構築」をテーマに標津の将来を担う青年・女性の異業種間の交流をはかり、「ふるさと標津への愛郷心の醸成と未来を担う」人づくりの育成を図る。

2. 対象者

- 町内在住又は町内で勤務している方で、年齢が概ね20歳～40歳の方
- 標津町が好きで愛着をもっている方、標津をもっと知りたい方
- 地域の活性化のために若い仲間と活動をしたい方
- 町内外の異業種メンバーと交流し、若者ならではの催しを興したい方

★入塾を希望する方、詳しい内容が知りたい方、どなたかご紹介いただける方など、お申し込み・お問い合わせは事務局の町生涯学習センターあすぱるまで。
<TEL :82-2900 FAX :82-2901 Mail : asuparu@shibetsutown.jp>



※申込書は町ホームページからダウンロードできます (QRコード参照)

★問合せ先：町生涯学習センターあすぱる (☎82-2900)



事業・行事名	期 日	時 間	対 象	会 場
第15回標津オープンバスケットボール大会	12/6	9:00	中・高・一般	総合体育館
第10回かでのる講座	12/10	13:30	一 般	あすばる
子ども元気アップ大作戦「ダンス教室」	12/11	9:00	幼 児	川北体育館
スポーツ少年団レクリエーションカーニバル	12/12	9:00	少年団員	総合体育館
スポーツ体験教室	12/14、21、1/18、25	16:00	小中学生	総合体育館
川北子ども会クリスマスパーティー	12/19	13:15	川小児童	川北センター
第16回支部長杯卓球大会	12/20	9:00	小・中・高・一般	総合体育館
子ども元気アップ大作戦「ダンス教室」	12/21	9:00	幼児	総合体育館
少年活動（6年生向け）研修会	12/26	9:15	川小6年生	川北センター
標津町成人式	1/7	13:00	一 般	あすばる
新春書初め大会	1/9	13:30	幼児・小中学生	あすばる
管内高校新人戦バレーボール大会	1/9	9:00	高校生	総合体育館
子ども元気アップ大作戦	1/14	9:00	幼 児	標津こども園
初心者スケート教室	1/16、23	13:00	年 長	川北リンク
初心者スケート教室	1/16、23	15:00	年 長	標津リンク
親子運動教室	1/17	10:00	親 子	総合体育館
子ども元気アップ「ジャグリングショー」	1/21	9:00	幼 児	川北こども園
子ども元気アップ「ジャグリングショー」	1/22	9:00	幼 児	標津こども園
サイエンスフェア冬	1/23	10:00	幼小中（一般）	あすばる
第17回道東小中学生距離別スケート選手権大会	1/23	9:00	小・中学生	町営リンク
第17回標津オープン卓球フェスティバル	1/24	9:00	小・中・高・一般	総合体育館
子ども元気アップ大作戦	1/28	9:00	幼 児	川北こども園

※【健P】は健康ポイント対象事業です。

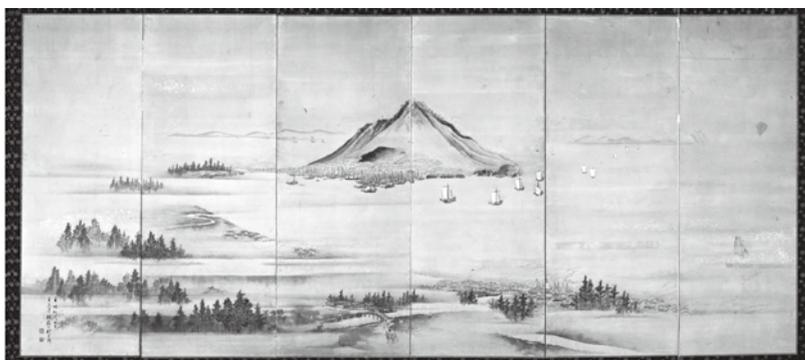
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきます。詳細は各担当へお問い合わせください。

あすばる展示コーナーの

◆◆◆お知らせ◆◆◆

あすばる展示コーナーでは、箱館港屏風を12月から展示いたします。ぜひこの機会にご覧ください。

『箱館港屏風とは、』



箱館港屏風は、標津番屋屏風と共に会津藩の絵師星暁邨の手により制作されました。標津番屋屏風、箱館港屏風の二隻一対で一つのストーリーが完成するようにつくられており、標津番屋屏風では標津の水産資源と木材資源の豊かさを表現し、幕末に会津藩が目指そうとした未来像を伝えています。一方の箱館港屏風では、なぜその未来を目指すかの理由が表現されています。それは、当時国際貿易港として諸外国に開かれた箱館港に、巨大な黒船が停泊する様子が描かれており、これからは日本という国の中だけで物事を考える時代ではなく、世界を視野に入れる時代だと伝えているのです。